

【上京区,南区】京都御所、迎賓館、本隆寺、東寺

日本の伝統建築と修理現場を訪ねる

定員：30名



本コースでは、日本の伝統建築の技と修復の技術に触れます。平安時代以降の建築様式が残る御所と、伝統建築の粋を結集した現代の迎賓館を併せて見学し、本隆寺では本堂の解体修理現場を実見します。古代の技術と、それを継承する現代の技術と取組みをご覧ください。

京都御迎賓館

出典：内閣府迎賓館ウェブサイト
<https://www.geihinkan.go.jp/kyoto/entrance/>

行程

※行程は予告なしに変更することがあります

- | | | | |
|---------------|------------|------------------|----------------|
| 9:45（集合） | 京都御所蛤御門前 | ……徒歩…… | |
| 10:00 - 12:30 | 京都御所、京都迎賓館 | 見学 | ……徒歩…… |
| 12:40 - 13:30 | 昼食 | ……徒歩…… | |
| 13:40 - 15:00 | 本隆寺修復現場 | 見学（京都府文化財保護課 解説） | =====貸切バス===== |
| 15:00 - 16:00 | 東寺 | 見学 | =====貸切バス===== |
| 16:15（解散） | 京都駅 | | |

〈注意事項〉本コースは修理現場などを見学するため、ハイヒール、サンダル、草履は避け、歩きやすい靴でご参加ください。

京都御所：古式ゆかしい内裏（天皇のお住まい）の形態を今日に残し、現在のものは1855年の造営です。紫宸殿、清涼殿、小御所、御学問所、御常御殿など、平安時代以降の建築様式の移りかわりを見ることができます。

京都迎賓館：来日した各国賓客の接遇のため、2017年に建設。入母屋と数寄屋造りの外観は品格のある和風の佇まい。建物や調度品には、数寄屋大工、左官、西陣織や、蒔絵、漆など京都を代表する伝統技能を用いています。

本隆寺：18世紀の京都の大火を免れた本堂（国指定重要文化財）は、京都16本山のなかで最も古く「焼けずの寺」の異名も。現在本堂が修理中で、京都府文化財保護課の担当者による解説のもとご覧いただけます。

東寺：弘法大師空海ゆかりの寺院で、世界遺産にも登録されています。高さ55mの国宝「五重塔」は日本の木造建築物として日本一を誇ります。本コースでは、一部修理を行っているこの五重塔の初層と密教空間を特別拝観します。



本隆寺 本堂解体修理



東寺